



発表項目 (行事名)	<b>「農たび・北海道ネットワーク研修会」の開催について</b> ～旅行客から選ばれ続ける地域になるための、今後の取組のヒントがつかめる～		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>道では、農山漁村の豊かな自然や食、歴史・文化などの地域資源を活用した滞在型観光として、地域ぐるみで旅行客を受け入れる農泊などの農村ツーリズム(愛称「農たび・北海道」)の推進を図るため、この度、「農たび、北海道ネットワーク研修会」を開催します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 日 時：令和4年12月14日(水) 13:30～17:00</p> <p>2 場 所：第二水産ビル4階 4S会議室(札幌市中央区北3条西7丁目1番地)</p> <p>3 対 象：農泊などの農村ツーリズムに関心のある団体・個人、実践者等</p> <p>4 開催方法：対面形式(会場参加)＋オンライン形式(ZOOM)</p> <p>5 プログラム：</p> <p>(1) 情報提供</p> <p>①北海道日本ハムファイターズとの観光連携のコンテンツを募集します</p> <p>②アドベンチャートラベルについて～ATWS2023開催～</p> <p>③新型コロナウイルス感染症対策の最新情報について</p> <p>(2) 地域の特性を活かした地域ぐるみの受け入れ農泊事例紹介</p> <p>【紹介1】地域内連携による持続可能な農泊地域づくり</p> <p>【紹介2】農泊×中長期滞在で関係人口創出</p> <p>【紹介3】鶴居村農泊宣言”小さな村で暮らす旅”を体感できる鶴居村の農泊</p> <p>(3) 活動発表&gt;</p> <p>「農たび・北海道」をテーマとしたPR企画(大学生考案)</p> <p>協力 札幌大谷大学</p> <p>6 その他：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申込みは、チラシ記載の「申込みURL」又は、「申込みQRコード」にアクセスし、申込み願います【申込期限：12月7日(水)】。</li> <li>・本研修会は「新北海道スタイル」に沿って開催します。</li> <li>・会場参加者は、「マスク着用」、「手指の消毒」、「検温」等にご協力願います。</li> </ul>		
参 考	・研修会の詳細は、別添チラシをご参照ください。		
報道(取材)に 当たって のお願い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの農泊などの農村ツーリズムに関心のある団体・個人、実践者等にご参加いただけるよう開催のお知らせを含め、積極的な報道・取材をお願いします。</li> <li>・報道機関の皆様は事前の申込み不要ですので当日、会場にお越しください。</li> </ul>		
他のクラブ との関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		
担 当 (連絡先)	農政部農村振興局農村設計課(担当者:小笠原) TEL 011-206-6490(直通) (内線27-873)		

# 農たび・北海道ネットワーク研修会

参加費  
無料

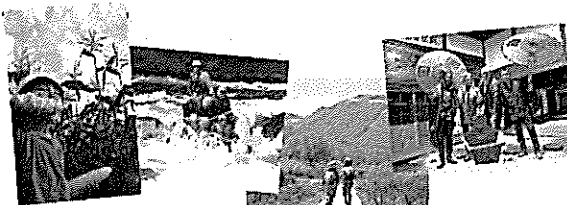
～ 旅行者から選ばれ続ける地域になるための、今後の取組のヒントがつかめる～

目 時 令和4年12月14日(水) 13:30～17:00 (13:00開場)

会 場 第二水産ビル4階4S会議室 (札幌市中央区北3条西7丁目1番地)

## 目 的

各地域の取組を共有し、情報交換による地域の連携強化を図るとともに、地域資源を生かした企画、運営、情報発信等の手法を学ぶことにより、農泊などの農村ツーリズム(愛称「農たび・北海道」)の取組を推進することを目的として「農たび・北海道ネットワーク研修会」を開催します。



都会には体験できない時間がある  
～「農たび・北海道」～

## 参加対象

農泊などの農村ツーリズムに関心のある団体・個人、実践者、農林漁業者、市町村、観光協会、商工会議所、商工会、農業協同組合、漁業協同組合、森林組合、振興局担当職員 等

## 開催方法

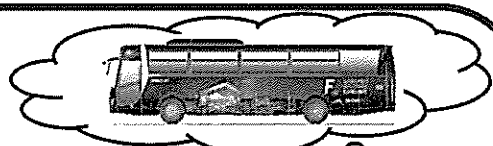
対面形式(会場参加) + オンライン形式(ZOOM参加)

## プログラム(予定)

1 開会・挨拶 (13:30～13:40)

2 情報提供 (13:40～14:05)

- ①北海道日本ハムファイターズとの観光連携のコンテンツを募集します
- ②アドベンチャートラベルについて～ATWS2023開催～
- ③新型コロナウイルス感染症対策の最新情報について



3 地域の特性を活かした地域ぐるみの受け入れ農泊事例紹介(14:05～15:45)



地域内連携による持続可能な農泊地域づくり<紹介1>

～ニーズに合わせたコンテンツの連携で地域活性化をコーディネート～  
(有)アグリテック 代表取締役社長 中田 浩康 氏



農泊 × 中長期滞在で関係人口創出<紹介2>

～ゲストハウスSENTOを拠点に地域ぐるみでリモートワーカーの受け入れ  
NPO法人 やくも元気村 事務局長 赤井 義大 氏



鶴居村農泊宣言“小さな村で暮らす旅”を体感できる鶴居村の農泊<紹介3>

～何度でも訪れたい鶴居ならではの地域ぐるみのおもてなし～

NPO法人 美しい村・鶴居村観光協会 事務局長 服部 政人 氏

4 紹介3地域の質疑応答・意見交換 (15:55～16:30)

5 活動発表 (16:30～17:00)

「農たび・北海道」をテーマとしたPR企画(大学生考案)  
協力 札幌大谷大学



主催 北海道農政部農村振興局農村設計課

### <紹介1> 地域内連携による持続可能な農泊地域づくり

～ニーズに合わせたコンテンツの連携で地域活性化をコーディネート～

町を紹介するマチなか散策、水をテーマにした「水育ツアー」や写真文化体験など、東川町のもつ地域資源や文化、歴史を活用したアクティビティプログラムの企画開発をおこないながら、地域の魅力を伝える観光人材の発掘や育成、受入農家、ネイチャーガイド、各体験インストラクター等の地域関係者との受入体制を構築して地域ぐるみで受け入れ、お客様に喜ばれる魅力ある取組について、ご紹介します。



### <紹介2> 農泊 × 中長期滞在で関係人口創出>

～ゲストハウスSENTOを拠点に地域ぐるみでリモートワーカーの受け入れ～

築100年以上の元銭湯を改修して仕事もできるカフェ&ゲストハウス「SENTO」の運営や生産者と連携した農漁体験コンテンツの作成・提供、元小学校の廃校を改修してキャンプができる施設「ペコレラ学舎」を、移住してきた地域おこし協力隊と開業するなど、外からきた地域関係者とも連携し、お客様のニーズに合ったサービスを提供する八雲町での地域ぐるみの取組について、ご紹介します。



### <紹介3> 鶴居村農泊宣言“小さな村で暮らす旅”を体感できる鶴居村の農泊

～何度でも訪れたいくなる鶴居ならではの地域ぐるみのおもてなし～

鶴居村観光協会では、丹頂や釧路湿原、酪農景観など豊かな観光資源を活かし、「小さな村で暮らすような旅」を体感してもらう農泊を推進し、カントリーステイの素晴らしさを「鶴居村農泊宣言」として、HPやSNSで紹介しています。コロナ禍でも観光入込客数が前年度比4,600人（令和3年度）増加した、何度でも訪れたいくなる鶴居村ならではの地域ぐるみの取組について、ご紹介します。



## 参加申込方法(申込期限:令和4年12月7日(水)まで)

- 会場参加、オンライン参加も、事前に申込みが必要です。
- 「申込みURL」又は、「申込みQRコード」にアクセスし、申込フォームに必要事項を入力の上、お申込みください。

申込みQR



**申込みURL** <https://www.harp.lg.jp/o90f91Z1>

※オンライン参加者には、研修会開催前日までに、参加用のZOOMのIDとパスワードを、お申込みいただいたメールアドレスに送付いたします。



## 会場参加者へのお願い

- 発熱や、体調不良などが見られる場合は、来場をご遠慮ください。
- 本研修会は、「新北海道スタイル」に沿って開催し、マスクの着用、手指の消毒、検温等にご協力願います。
- 検温の結果、37.5度以上の発熱が認められた方は、入場をお断りさせていただきます。



(お問い合わせ先)

北海道農政部農村振興局農村設計課 担当:北島 電話:011-206-6490